



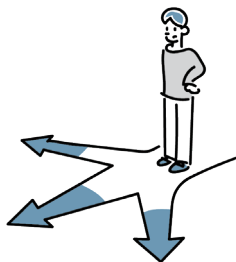
滋賀県立 信楽高等学校

Shiga Prefectural
Shigaraki High School

🔍 学校の特徴

滋賀県の最南部、「日本六古窯」として知られる甲賀市信楽町にある高校。全日制総合学科の高等学校として「セラミック」「デザイン」「普通」の3つの系列があり、多くの選択科目を用意し、信楽ならではの地域の教育資源を活用した特色ある授業を行なっている。

総合学科・・・自分の興味や関心に応じた授業を自分自身で選択し、「総合的」な力を身に付け、希望する進路を実現していく学科



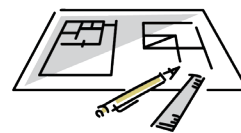
1年生 全員がセラミックやデザインの授業も含む共通の科目を学びます。1年次の段階で自分がどの系列に向いているか考え、選択・決定します。

2年生 全員が共通して受ける授業と、系列ごとに分かれて受ける授業があります。系列ごとの専門的な学習を深めていきます。

3年生 系列ごとの専門分野をより深く学ぶと同時に、進路希望に応じた様々な選択科目によって一人ひとりの進路実現をめざします。



充実した設備（登り窯・陶芸室・デザイン室）



系列

セラミック系列

陶芸の基礎から応用まで幅広く学べ、美術分野や立体アートについても学べます。少人数での実習では丁寧な指導を受けることができます。信楽ならではの充実した設備も揃っており、陶芸に囲まれた環境も魅力です。

デザイン系列

デザインの基礎基本を大切に、創造力を伸ばす授業が行なわれています。個々のアイデアや能力を大切に、きめ細かな指導により、デザインから美術まで、幅広い造形分野への進路実現をめざします。

普通系列

少人数指導や複数の先生によるチームティーチングで“わかる授業”に取り組んでいます。国語や英語の授業を多く取り入れ、言語活動を重視した授業を行なっています。

全国募集の「アート留学」

1学年5名を上限として、県外からの入学を受け入れています。「アート留学」としての募集のため、系列は「セラミック」、「デザイン」の選択となり、普通系列は選べません。

「アート留学」のステップ

STEP
1

体験入学
学びの場を見て、聞いて、体験しよう！

STEP
2

説明会に保護者と参加
受験するには参加が必須です。

STEP
3

面接試験
アート留学への思いを伝えよう！

※詳細はホームページまたは直接お問合せください

詳しくは滋賀県立
信楽高等学校HPを
ご覧ください



「アート留学」の
学生さんの暮らしの様子は
こちらのYouTubeで
紹介しています。



Interview

「アート留学」をされた大阪府出身の学生さんにインタビューを受けていただきました。



重川 ひまわりさん
(セラミック系列 3年)



西田 陽輝さん
(セラミック系列 2年)



加藤 唯奈さん
(総合学科 1年)

Q なぜこの学校を選びましたか？

重川さん

地域みらい留学のパンフレットを見て、陶芸に興味があって学びたいと思って選びました。小学校の修学旅行で、信楽で陶芸をしたことや、大阪から近いこともあって選びました。

西田さん

地域みらい留学のパンフレットを、学校からもらって説明会に行きました。色んな学校があったんですけど、美術が好きだったので、美術が学べる学校の説明を聞いてこの学校に決めました。

加藤さん

中学校の美術で信楽の土を使って手びねりでコップを作ったことがあって、またやりたいと思って選びました。親が「地域みらい留学、こんなあるよ」で教えてくれて、いろんな高校をみてここを選びました。

Q 体験入学に来られて、この学校に決めたきっかけを教えてください。

重川さん

陶芸に関する設備がすべて整ってるので、学んだらもうここしかないなって思ってた。

西田さん

見学の時に作品を見て、こういうの作れたらいいとか、自分も作ってみたいとか、ここにしかない登り窯だったり、特別な講師に教えてもらえるのでいいなと思いました。

加藤さん

一人暮らしがしたかったんですよ、一人暮らしができて、物作りもできるってことで、「ここに来たい」ってほとんど決まっちゃった。

Q 高校生活について教えてください

重川さん

陶芸以外は普通の高校です。部活は陶芸部に入っていました。2年生からセラミック科なんですけど、3年生になると選択授業が増えて楽しいです。めっちゃ楽しいです、本当に。ろくろを回すのが一番楽しいです。

西田さん

1年次は普通の授業が多いです。ここが信楽なんで、絵を学ぶより信楽焼、陶芸を学ぶほうがいかなって思って2年生でセラミックを選びました。手びねりからやって、菓子鉢と壺、花瓶みたいなものを作りました。初めて自分の作品を作った時は感動がありました。部活は唯一やったことのないバレーボール部に入りました。今はスーパーでアルバイトをしています。

加藤さん

総合学科なのでデザインとセラミックを両方しています。その他の普通科の教科は、中学校の基礎からスタートするので、苦手教科とかも克服できるチャンスかなと思います。

Q 信楽高校に入ってみて良かった？

Q この学校のおすすめの学びを教えてください

重川さん

セラミックを学んでいるのでおすすめしたいです。3年生になったら色んなことを学べる自由課題っていうのがあって、私はろくろをめっちゃおすすめします。信楽(高校)にきたら、絶対ろくろをまわしてください(笑)。

西田さん

やっぱりセラミックです。全て初体験で、何もわからん状態で、でもやっていくうちにだんだん楽しさがわかって。今、手びねりとろくろをやっている、最初は先生に頼りっぱなしだったんですけど、授業が進んでいくたびに自分でできることも多くなって、基礎から学ばせてもらえるので陶芸は面白いです。

加藤さん

デザインとセラミック両方を学べるので、産業社会の教科がおすすめです。

よかったです～



Q 一人暮らしをしてみようですか？

重川さん

はじめはめっちゃ大変でした。全部ひとりでしなければいけなかったの。日が経つにつれて慣れてくるもので、今では立派に(笑)。いろんな人が助けてくれるので、やってこれたという感じです。



加藤さん

料理はお弁当を作ったことしかなくて、朝、昼、夜、ご飯作んなきゃって、あ……って……たまにさぼる……笑。それでも、まあ、頑張って……掃除は今でも苦手です。

Q お昼はお弁当を作んなきゃいけないんですよね？

西田さん コンビニ……

加藤さん おにぎりです……

重川さん お弁当作ってます！



西田さん

洗濯も料理も掃除もあまり自分でやってこなかったんで、初めての一人暮らしで慣れてないことが多くて、最初はできないことばかりで……。料理は今でもできないんですけど、掃除とか洗濯とかはできるんですけど、まだやっぱ慣れてなくて……。大阪のいろんな友達が電話で応援してくれて元気をもったりしてます。親もたまに来てくれたり、たまに帰ったりして、一人の不安とかも消えます。自分のやりたいこともできるので、頑張れると思います。

Q 一人暮らしに点数をつけると？

西田さん 80点……

加藤さん 50点……

重川さん 120点……



Q 将来について教えてください

重川さん

将来が決まったんですよ、ろくろは全く関係なく(笑)。こっちにきて料理がめっちゃ好きになったので、飲食店で(ろくろではなくてお店を)まわしていきます!(笑) ゆくゆくは調理師をめざします。

西田さん

小学生からめざしている夢は曲げてないんで、一人暮らしになってから自分の今できることをずっと頑張っています。友達も一緒にめざしてるんで、一緒に夢を追いかけてようって感じです。



加藤さん

将来はまだ決まっていらないです。でも物を作ることが小さいときから好きだったので、今も陶芸部にはいろいろなものを作っています。2年生ではセラミック系列を選ぼうと思っています。



COCONI
学年が上がるほど
楽しくなるんだね 笑

Q 中学生に向けてのアドバイスをお願いします

重川さん

私、勉強が中学校の時に得意ではなくて、でも特別な何かをしたいなと思ったのでここに 来たんです。“何も特別にできないことがないな”って思った時に、“作ればいいやん”って 思って。だからもし、“何か欲しい”と思うんやったらここに 来ててください。

西田さん

勉強ですね。自分ほんまにやってなかったんで……今、高校生なってちょっと勉強が好きというか、やるようにはなったので。勉強苦手な子もいると思うんですけど、自分の得意教科とかもたぶんあると思うので、それに没頭するのもありやし、苦手なことも今は動画とか YouTube とかあるんで、それで勉強法とかを見て勉強したりしてもいいんじゃないかなって思います。

加藤さん

やっぱ勉強……受験には勉強が大事なので。



個室の宿舎の外観